森、川、まち、海で体験型学習

県内各地で進む学社融合事業

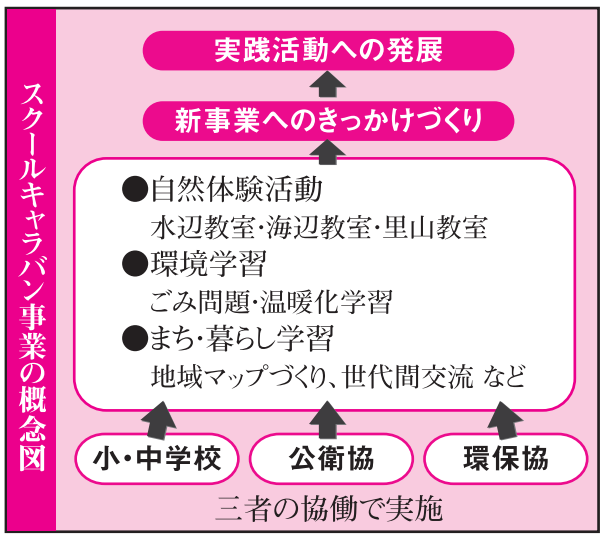
スクールキャラバン事業は、「生涯にわたる健康づくりと住み良い環境づくり」への関心を持たせる、あるいは公衛協と学校が持続的に活動する学社融合システムの構築を目指し、小・中学校を対象に体験型の環境・健康学習を実施する事業である。また、事業を通じて、公衛協の人材発掘、育成や活動メニューの拡充につなげるほか、水質浄化・里山復元・温暖化対策・健康づくり事業など、地域ニーズに合わせた実践活動の発展もねらっている。

実施内容は、水辺・海辺・里山教室、ビオトープづくりなど「自然体験学習」、地球温暖化、ごみ分別、不法投棄など「環境学習・ごみ問題学習」、地域マップづくり、世代間交流など「まち・暮らし学習」といったものである。

事業の申請にあたっては、公衛協・学校・環保協の3者でテーマや日程調整を行い、必要に応じて当協会のスタッフや専門家を派遣している。なお、長年にわたる指導者養成講座で各地に講師の力量を持つ推進委員が養成されている水辺教室では、主催者が講師も務めるよう促している。

平成25年度は、13市町で48件の事業が展開され、約2300人が参加した。最も件数が多いのは水辺教室で、河川が12市町40件、ため池1町1件となっており、事業が定着している様子が伺える。平成26年度も多くの申請を受け付けており、自然体験学習、環境学習などが各地で展開されている。秋・冬に向けては、環境美化活動や里山整備活動が盛んになってくる。引き続き、多くの活動が展開されることを期待したい。

PTCによる紙芝居「ハチドリのひとしずく」（上）、保護者と一緒にマイ箸と箸袋を作成（下）



最後にこれまでの代表的な活動事例を紹介する。

◆テーマ：地球温暖化防止

福山市泉学区公衛協と泉小学校は、毎年、修学旅行を控えた児童を対象に地球温暖化防止の学習とマイ箸づくりの授業を行っている。授業では、一人ひとりができることは小さくても大人数で取り組めば大きな力になること、地球温暖化防止のためにできることはたくさんあること、できることから1歩ずつ進めていくことの重要性を伝えている。

今年度は学区PTCや近隣の学区公衛協と連携した事業となり、盛り上がりを見せた。

PTC：保護者と教師と子どもの交流活動

◆テーマ：地域環境（ホタル）

江田島市三高小学校では、6年生の総合学習で、ホタルをテーマに地域の環境学習に取り組んでいる。児童がグループをつくって研究テーマを定め、1学期から2学期にかけて、ホタルの飛翔目撃情報、昔と今の環境の変化、飛翔場所の変化などを地域住民から聞き取ってまとめる。授業の進捗にあわせて、地域の方やホタルの専門家、公衛協、当協会職員がゲストティーチャーとしてサポートする仕組みで進められている。

ホタルの飛翔条件を探るフィールドワーク（上）、調べたことをまとめて発表する児童（下）

◆テーマ：海辺教室

呉市音戸地区公衛協は、町内の3小学校に呼びかけ、毎年夏休みに、地元の浜辺で、漂着ごみ、生き物、自然の浄化作用について学ぶ海辺教室を実施している。

浜辺には、砂浜、干潟、磯、カキの抑制棚、藻場などがあり、カニやエビ、貝、魚、海藻など、さまざまな生き物が観察・採集できる。推進委員の皆さんの「これはおいしいよ」「こんな仕掛けを作って魚をとっていた」「昔はこんな環境だった」など、文化や歴史の話も面白い。また、多くの生き物が活動することで環境が良好に保たれていることを学び、自分に何ができるかを考えるきっかけとしている。

（地域活動支援センター）

干潟の清掃を実施（上）、清掃後の干潟で、生き物を採集する児童たち（下）

のばそう！健康寿命
健康ひろしま21 第2次
②基本目標、栄養・食生活

生活習慣病の発症予防・重症化予防

試食会やサミットで減塩をPR

健康ひろしま21（第2次）の基本的な目標を次の4つとしています。

目標1　すべての県民が生活習慣病のリスク因子を正しく理解している。

目標2　県民自らが、生活習慣病予防のために、健康づくりの実践をしている。

目標3　生活習慣病になっても、早期治療に努め、治療を中断することなく継続し、重症化や寝たきりにならないよう取り組んでいる。

目標4　県民の取り組みをサポートする体制が整備されている。

この目標達成のため、特に、①栄養・食生活②身体活動・運動③たばこ④歯・口腔の健康4つの生活習慣の改善に取り組むとともに、特定健康診査・特定保健指導による生活習慣病の発症予防、早期発見・早期治療、重症化予防を図ることとしています。

①の栄養・食生活については、塩分のとりすぎなどによる高血圧など生活習慣病の発症予防・重症化予防の観点から、県民の健全な食生活を推進するため平成25年3月に「広島県食育推進計画（第2次）」において、①1日の食塩摂取量の減少②1日の野菜摂取量の増加を重点目標としました。

第8回食育推進全国大会で挨拶する湯崎知事

広島県においては、昨年度、食育に対する理解を深めるために第8回食育推進全国大会を開催するとともに、減塩の取り組みを行っている団体等の実践内容の積極的なPRや、減塩をはじめとした食育の普及啓発、実践を図るための知事試食会を開催しました。また、今年は減塩サミットin広島2014を開催し、減塩の重要性について普及啓発を行っています。健康生活応援店（食生活応援店）の増加や、企業の食堂などと連携した健康メニューや健康情報の提供に引き続き努めます。

栄養バランスを考えた食事をとること、減塩や野菜の摂取を心がけましょう。

項目別の現状と目標

目標項目	現状	目標（H29）
食塩摂取量	成人 10.9g	成人 8g以下
野菜摂取量	成人 261g	成人 350g以上

（広島県健康福祉局　健康対策課）